

よこすかYYのりものフェスタ2025で広報活動



地本広報ブースで広報官が説明



南極の氷に触れる家族

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 阿部勤3等海佐）は6月1日（日）、ヴェルニー公園周辺および横須賀地方総監部で開催された「よこすかYYのりものフェスタ2025」主催・横須賀市観光協会）において広報活動を実施した。

当日は天候に恵まれ（前日は悪天候により中止）、練習艦「かしま」や「しまかぜ」および潜水艦の一般公開、陸上自衛隊第31普通科連隊による「82式指揮通信車」の展示、子供用ミニ制服試着コーナーなどが実施され、1万人を超える来場者でにぎわった。特に特別機動船と水中処分艇の体験乗船は大人気で、抽選に当選した来場者は、そのスピード感と船から見る港の景色を楽しんでいた。

横須賀地域事務所は、他所の広報官の協力を得て広報ブースを設置し、自衛隊の活動や制度などについて説明を行った。ブースには、進路の一つとして自衛隊に関心を持つ若者が訪れ、広報官に熱心に質問をしていた。

その中には、自衛隊の受験を考えている高校3年生が家族とともに来場する姿も見られた。「本人が望むのであれば応援したい」と保護者も理解を示しており、ブースでの説明を受けたことで、本人は自衛隊への志望の気持ちをさらに強めた様子であった。

また、南極の氷に触れることのできる体験コーナーでは、終日行列が絶えず、子供から大人まで幅広い年齢層の興味を集めていた。

横須賀地域事務所は、「今後も地域や部隊との連携を深め、協力を得ながら募集広報活動にまい進していく」としている。



第31普通科連隊が展示した82式指揮通信車



大人気の特別機動船

防衛大学校オープンキャンパスに行ってきました！



6月1日（日）、神奈川県横須賀市にある防衛大学校でオープンキャンパスが開かれました。神奈川県内をはじめ、全国各地から高校生やその保護者の方など、たくさんの方が参加しました。自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 山内哲也2等陸佐）も、地域の高校生を案内し一緒に見学に行きました。

このオープンキャンパスは、防衛大学校への進学を考えている方に向けて、教育内容や施設、学生生活の様子などを実際に見てもらうことを目的としています。

当日は、模擬授業や学生舎の見学、研究室での「電巻実験」など、多彩なプログラムが用意されていました。防大生との座談会では、実際に防衛大学校で学んでいる学生から、日々の学習や学校の実情についてリアルな話を聞くことができ、参加者にとって貴重な情報収集の場となりました。

中には、遠泳訓練に不安を感じていた参加者もいましたが、防大生の体験談を聞くことで不安が和らぎ、進路を前向きな気持ちで考える様子うかがえました。

神奈川地方協力本部は、今後このような機会を通じて、防衛大学校や自衛隊への理解を深めてもらうとともに、進路選択の一助となるように活動してまいります。

今回の防衛大学校オープンキャンパスは、7月19日（土）、20日（日）に開催予定です。見学を希望される方は、お近くの募集案内所までお気軽にお問い合わせください。